

韓国・対馬視察報告書

～ソウル・釜山・対馬～

沖縄経済同友会

2024 年 2 月

主催：国際委員会

目次

I. 視察団名簿.....	2
II. 視察日程表《2024年2月1日（木） ～ 2月4日（日）》	3
III. 視察総括.....	4
垣花 秀毅 国際委員会委員長（株）おきぎん経済研究所 代表取締役社長）	
【対馬：2月1日（木）】	
IV. 航空自衛隊 海栗島分屯基地視察.....	8
前田 貴子（株）ゆがふホールディングス 代表取締役社長）	
【釜山：2月2日（金）午前】	
V. 内外トランスライン社（内外銀山ロジスティクス株式会社）視察	13
内間 徹（株）沖縄銀行 常務取締役）	
VI. 釜山港湾公社 広報館視察（釜山）	18
嘉味田 朝紀（沖縄新エネ開発（株） 代表取締役社長）	
【ソウル：2月2日（金）午後～4日（日）】	
VII. 韓国国防研究院（KIDA）との意見交換	20
出村 郁雄（那覇空港貨物ターミナル（株） 代表取締役社長）	
VIII. JETRO ソウル事務所との意見交換	23
臼井 隆秀（インタラクティブ（株） 代表取締役社長）	
IX. DMZ 非武装地帯（自由の橋、第3トンネル、都羅展望台）視察	28
平良 健（沖縄ツーリスト（株） 取締役社長）	
X. 韓国貿易協会（KITA）との意見交換	32
知花 健二（株）琉球銀行 常務取締役）	
XI. ノンバーバル・パフォーマンス「NANTA」視察	35
上運天 清（株）りゅうせきフロンティア 代表取締役社長）	

I. 視察団名簿

No.	当会役職	氏名	会社名	役職
1	代表幹事	みづべ みき 渕辺 美紀	(株)ジェイシーシー	代表取締役会長
2	代表幹事	かわかみ やすし 川上 康	(株)琉球銀行	代表取締役頭取
3	副代表幹事	とうめ はるお 當銘 春夫	(株)りゅうせき	代表取締役会長兼社長
4	国際委員長	かきはな ひでき 垣花 秀毅	(株)おきぎん経済研究所	代表取締役社長
5	基地・安全保障委員長	いでむら いくお 出村 郁雄	那覇空港貨物ターミナル(株)	代表取締役社長
6	情報通信委員長	かみうんてん きよし 上運天 清	(株)りゅうせきフロンタイン	代表取締役社長
7	組織拡大・交流委員長	こばやし ふみひこ 小林 文彦	川崎重工業(株)	沖縄支社長
8	未来創造委員長	まえだ なかこ 前田 貴子	(株)ゆがふホールディングス	代表取締役社長
9	会員	うすい たかひで 臼井 隆秀	インタラクティブ(株)	代表取締役社長
10	会員	うちま とおる 内間 徹	(株)沖縄銀行	常務取締役
11	会員	かみだ ともただ 嘉味田 朝紀	沖縄新エネ開発(株)	代表取締役社長
12	会員	たな たけし 田名 毅	医療法人麻の会 首里城下町クリニック第一・第二	理事長
13	会員	ちばな けんじ 知花 健二	(株)琉球銀行	常務取締役
14	準会員	いしき じゅんこ 伊敷 順子	(株)大亜	常務取締役
15	準会員	たいら つよし 平良 健	沖縄ツーリスト(株)	取締役社長
16	事務局	たけこし こういちろう 竹越 康一郎	沖縄経済同友会	事務局長
17	事務局	うえち りゅうた 上地 龍太	沖縄経済同友会	事務局次長
18	事務局	あらかき のぶあき 新垣 誠朗	沖縄経済同友会	事務局研究員

II. 視察日程表《2024年2月1日（木） ～ 2月4日（日）》

NO	月 日	時 間	行 程	食事	宿泊地
一 日 目	2024 年 2 月 1 日 (木)	06:05	那覇空港 3 階 国内線 ANA 出発ロビーへご集合(搭乗手続き)		時差 なし
		07:15	那覇空港発 ANA1200 便にて福岡空港へ 所要 1 時間 40 分		
		08:55	福岡空港着 =乗継=		
		09:55	福岡空港発 ANA4681 便にて対馬空港へ 所要 35 分		
		10:30	対馬空港着(お荷物受け取り)		
		10:50	専用車にて対馬島内へ ～途中、◎和多都美神社参拝 ～		
			(視察 1) 航空自衛隊海栗島分屯基地 (体験喫食・施設/韓国眺望研修)	喫食	釜 山
		15:10	比田勝港着(乗船手続き・出国審査)		
		16:30	比田勝港発 ～パンスター対馬～ 釜山港着(17:40・入国審査)		
		タ 刻 夜	専用車にて釜山市内へ ★”松島サムヨン刺身”にて「海鮮料理」の夕食 ホテルチェックイン	夕食	
二 日 目	2 月 2 日 (金)		ホテルにて朝食	朝食	
		07:30	専用車にて釜山新港へ		
		08:30	(視察 2) 内外トランスライン(内外銀山ロジスティクス社) (日系企業・釜山新港における取り組みについて)		
		10:00	(視察 3) 釜山新港広報館 (釜山新港の PR を目的とした広報館)		
		12:00	釜山駅 ■□■ 超高速鉄道 KTX30 便 ■□■ ソウル駅(14:51) ※KTX 車内にてお弁当をお渡しさせていただきます。	弁当	ソウル
			到着後、専用車にてソウル市内へ		
		15:30	(視察 4) 国防研究院 KNDA (国防全般に関する研究を行っている機関)		
		17:00	(視察 5) JETRO ソウル事務所 (韓国の最新の経済動向について)		
		タ 刻 夜	★”明洞大家”にて「カルビ焼肉」の夕食 ホテルチェックイン	夕食	
三 日 目	2 月 3 日 (土)		ホテルにて朝食	朝食	
		07:30	専用車にてソウル市郊外へ		
		昼 頃	(視察 6) DMZ 非武装地帯視察 (自由の橋・第三トンネル・都羅展望台) ★レストランにて「参鶏湯」の昼食	昼食	ソウル
			(視察 7) ロッテ免税店視察 (韓国における免税店利用事情等を視察)		
		15:00	(視察 8) 韓国貿易協会 KITA (輸出支援やスタートアップ支援について) 一度ホテルへ戻り、小休憩		
		タ 刻 夜	★”景福宮クアンフン店”にて「韓定食」の夕食 ◎NANTA 鑑賞 (韓国初のノンバーバル・パフォーマンス)	夕食	
四 日 目	2 月 4 日 (日)	06:00	専用車にて仁川国際空港へ	朝食	
		07:40	途中、★”本家ソロンタン 24”にて「ソロンタン」の朝食		
		09:40	仁川国際空港着(搭乗手続き・出国審査)		
		11:55	ソウル発 アシアナ航空 172 便にて那覇へ 所要 2 時間 15 分	機内	***
			那覇空港着(入国審査・税関審査) ～ご参加ありがとうございました～		

【宿泊ホテル】

地 区	ホテル名	住 所	電話番号(国番号 82)
釜山	ロッテホテル釜山	772,Gaya-daero,Busanjin-gu,Busan	(82)51-810-1000
ソウル	ノホテルアンバサダー東大門	238,Eulji-ro,Jung-gu,Seoul,04561	(82)23-425-8000

III. 視察総括

【報告者：垣花 秀毅 国際委員会委員長（㈱おきぎん経済研究所 代表取締役社長）】

沖縄経済同友会（瀧辺代表幹事、川上代表幹事を含む）視察団 16 名は 2024 年 2 月 1 日（木）～2 月 4 日（日）の 3 泊 4 日の日程で韓国視察を実施した。

今回の企画は、古くから朝鮮半島との国際交流の要衝である対馬を経て海路で韓国に入国し、海上輸送のハブ港湾を要する釜山、多くの機関が集まる首都ソウルを視察後、那覇空港への直行便にて帰るというルートを採用した。また、国際委員会及び地域・経済活性化委員会、観光委員会、情報通信委員会、基地・安全保障委員会、未来創造委員会の共催にて、下表のとおり多くのメニューを詰め込んだ視察である。

訪問地	主な目的
対馬	・ 古くから大陸と日本をつなぐ要衝である対馬を視察 ・ 国境警備の最前線にある対馬の自衛隊基地の現状を視察
釜山（プサン）	・ 韓国最大の港湾設備を誇る釜山港を訪問 ・ 現地日本企業との意見交換
ソウル	・ 韓国国防省傘下にある国防研究院（KIDA）との意見交換 ・ JETRO ソウル事務所にて韓国経済の動向について意見交換 ・ 韓国と北朝鮮の軍事境界線にある非武装地帯に関する視察 ・ 韓国貿易協会（KITA）との意見交換 ・ ノンバーバル・パフォーマンスである NANTA の視察

出発〔2/1（木）〕

那覇空港を早朝 7:10 に飛び立ち、福岡で乗り換えて対馬空港へ向かう。天候不良で福岡から対馬の便が飛ばない可能性があるという不確定要素を抱えての出発であったが、なんとか無事に対馬に到着することが出来た。

02月01日ANA4681便
福岡09:55発 - 対馬10:30着は
対馬空港視界不良のため、天候状況を確認した
結果、条件付きの運航となりました。
＜結果＞
対馬空港に着陸出来ない場合は福岡空港に引き
返す可能性がございます。あらかじめご了承ください。

ご搭乗手続きをお済ませのうえ、出発時刻の10
分前までに搭乗口へお越しください。

（条件付き運航のメール）



（福岡⇒対馬のプロペラ機）

1. 対馬〔2/1（木）〕

対馬は長崎県に属し、九州本土より約 132Km、朝鮮半島へは約 49.5 kmの距離にある。形状は南北に 82Km、東西に 18Km と細長い島である。

対馬空港からバスで山道を走って北へ向かった。途中、和多都美（わたづみ）神社に立ち寄った。

神代の昔に作られ平安時代の文献にも記載され、竜宮伝説が残されている海宮である。海上から連なる鳥居の荘厳さと冷たい海風のため身の引き締まる思いで、次の目的地へ向かった。



(ここで初めての集合写真)



(台風の厄災を引受けて倒壊した身代わり鳥居)

最初の視察先である航空自衛隊 海栗島（うにしま）分屯基地は、日本の最北西端のレーダーサイトである。博多から約 150Km、朝鮮半島から約 50Km の位置にあり、24 時間体制で周辺空域の警戒監視の任務にあたっている。近年は外国機の飛来も増加しており、緊張を強いられる状況にあることがうかがえた。海栗島は、対馬自体が離島でありながら、更に舟に乗り換ええないといけない「二重離島」であり、市街地へのアクセスも容易ではなく、娯楽はもちろんのこと食材の買い物なども難しいと伺った。このような厳しい環境にありながら、国境警備の任務にあたっている隊員の皆様に頭の下がる思いであった。



(基地を後にする視察団メンバー)



(海上自衛隊定番の空揚げ定食)

自衛隊基地の視察を終えた我々は、対馬北部の比田勝港から船で対馬に向かった。「海を渡って交易した先人たちに想いを馳せる」という雄大な気持ちで意気揚々と出発したが、沖合に出ると激しい荒波で遊園地の絶叫マシンのような縦揺れに見舞われた。韓国人らしき若い女性の悲鳴が響いていたが、10 分後には誰も声を発するものがいなくなり、約 1 時間半の海路をひたすら耐えて釜山に辿り着いた。



(釜山行きのフェリー)



(沖合では窓に打ち付ける荒波)

2.釜山〔2/1（木）～2/2（金）〕

翌朝は釜山新港で物流を手掛ける日本企業「内外銀山ロジスティックス」を訪問して、岩貞社長に話を伺い、倉庫内の設備を見学した。その後、釜山新港広報館を見学し、現地のスタッフより港湾設備や今後の計画についてレクチャーを受けた。

釜山港は、24 時間対応を実現し、橋とトンネルを整備して釜山市内を通らずに渋滞を避けてソウルへ運べるようにし、発展を続けている。船からコンテナを積み下ろしするガントリークレーンの数も 100 を超えており、那覇港湾の 4 基とは桁違いの規模である。阪神大震災で神戸港の機能がダウンしたことが発展のきっかけと言われるが、決断と実行の速さが、それを実現可能にしたという。



（内外銀山ロジスティックス）



（釜山新港広報館）

3.ソウル〔2/2（金）～2/3（土）〕

釜山からソウルへの移動は超高速鉄道 KTX を利用。車内で弁当を食べつつ 3 時間弱の鉄旅である。すぐにバスに乗り換えたが、土曜日ということもあり、交通量がかなり多く、なかなか進まない。国防研究院（KIDA）には、予定時刻を過ぎての到着となったが、温かく迎えていただき貴重な意見交換をすることができた。常に北朝鮮からの脅威に向き合って安全保障上の複雑な環境に置かれている韓国の事情を垣間見ることができた。さらに JETRO ソウル事務所にて芦澤副所長より韓国の経済事情を伺った。

その日の夕食には、在大韓民国日本国大使館の相星大使ならびに浪岡総務公使兼経済公使をお招きし、本場のカルビ焼肉を堪能しながら、現地の国際事情を伺うことが出来た。



（JETRO での勉強会）



（“明洞大家”のカルビ焼肉）

ソウルの 2 日目の最初の視察は北朝鮮との国境付近の DMZ 非武装地帯である。北朝鮮がソウルへ進行するためにひそかに掘り進めていた「第 3 トンネル」を視察するため、ヘルメットをかぶっ

て地下へ降りていく。天井は低く壁は固い。このような南侵トンネルは4本発見されているという。都羅展望台からは北朝鮮との国境地帯を挟んで立つ韓国と北朝鮮の国旗を見ることができた。



(国境を望遠鏡で視察)



(北朝鮮国旗)



(大韓民国旗)

ソウル市内へ向かうが、ふたたびの渋滞。途中の昼食では、熱々の参鶏湯（サムゲタン）を30分でいただくという荒行となった。午後は韓国貿易協会（KITA）を訪問し、グローバル協力本部長のキム・ギヒョン氏をはじめ関係部署の幹部の方々と意見交換をすることができた。韓国貿易協会は昨年、関西経済同友会と「友好協力関係構築に関する覚書」（MOU）を締結しており、弊会も相互に友好親善を進めていきたいとの意見で一致した。



(アツアツの参鶏湯を30分で完食)



(韓国貿易協会にて“歓迎”のパネル表示)

帰路〔2/4（日）〕

最終日は沖縄へ帰国の途に就く。仁川（インチョン）国際空港から那覇空港は直行便で結ばれており、9:40に出発したアジアナ航空の飛行機は11:55に到着し、約2時間で時差もなく、とても楽に感じられた。

韓国から沖縄への入域観光客数は2023年1月～11月で2万4千人と外国人観光客の26.8%を占め、台湾に次いで2番目に多い。機内は韓国からの観光客と思われる方も多数搭乗していたが、直行便の利便性が大きく寄与していると思われる。この方々がリピーターとして気軽に来訪されることを期待したい。

那覇空港国際線のロビーに集合した我々は解団式を行った。振り返れば、荒天の中、対馬より船便で釜山に入り、ソウル、そして北朝鮮国境の非武装地帯まで巡り、視察先は8箇所にも及んだ非常に中身の濃い3泊4日であった。普通ではなかなかお会いすることの出来ない方々と意見交換をし、いろいろな気づきを持ち帰ることが出来た。それと同時にメンバー同士の交流も深め、非常に有意義な視察であった。

最後に、これほどの充実したスケジュールを可能にした沖縄経済同友会事務局と沖縄ツーリスト様のスタッフに感謝を捧げたい。

以上

IV. 航空自衛隊 海栗島分屯基地視察

【報告者：前田 貴子（株ゆがふホールディングス 代表取締役社長）】

1. 対馬について

長崎県対馬は九州本土から北へ約 132 km、韓国の釜山から 49.5 km の対馬海峡に浮かぶ島で、日本の最北西端に位置する。南北 82km、東西 18km と細長く、面積は東京 23 区よりも大きな 707.5 k m² の島である。

島全体が入り組んだリアス海岸に囲まれ、島土の約 89% を山地が占める険しい地形で、平地は非常に少ない。

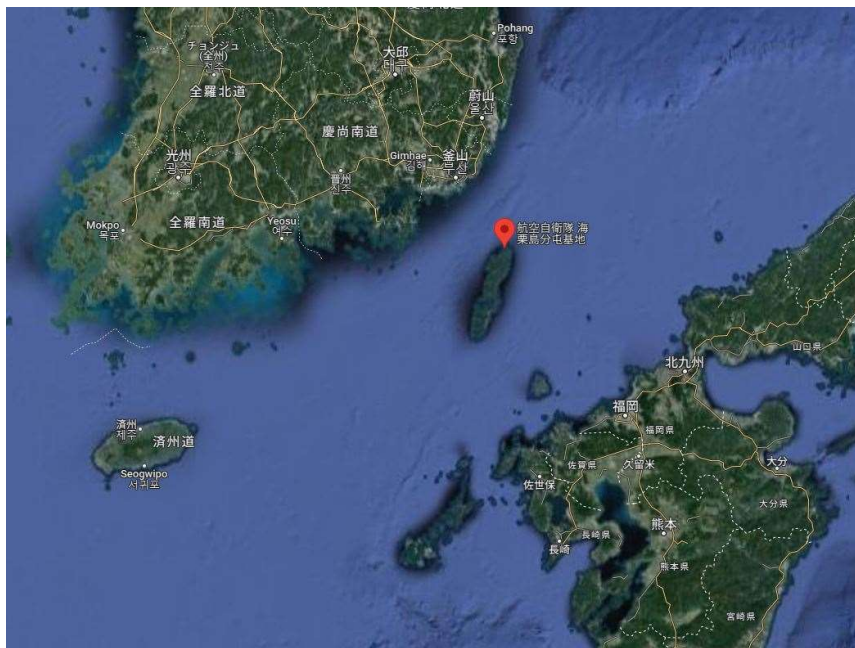
対馬島を中心に 6 つの有人島と 100 以上の無人島からなり、自衛隊分屯基地のある海栗島（うにしま）以外の有人島は、橋などで行き来ができる。

海栗島は全域が国有地であり（航空自衛隊の海栗島分屯基地となっているため）、関係者以外は上陸できない。海栗島への移動は自衛隊から委託された地元の渡船が 1 日 3 往復程度、隊員を輸送している。

2. 航空自衛隊海栗島分屯基地について

国境の島である対馬には、陸上自衛隊対馬駐屯地、海上自衛隊対馬防備隊、航空自衛隊海栗島分屯基地が配備されている。

視察先の海栗島分屯基地は、対馬の北端に位置するレーダーサイトで、博多から約 150 km、朝鮮半島からは約 50 km に位置する。夏は本州と同様の暑さがあり、冬は朝鮮半島から冷たい風が強く吹く厳しい環境の中、24 時間体制で周辺空域の警戒監視にあたっている。



画像出典：Google マップ

<海栗島分屯基地の沿革>

年 月	内 容
1950 年 7 月	米空軍の防空監視部隊（第 19 分遣隊）が海栗島に展開
1956 年 4 月	空自部隊が海栗島に展開し、分屯基地創設
1959 年 11 月	米空軍から業務移管→空自第 19 警戒中隊による全面運用開始
1961 年 7 月	航空自衛隊西部航空警戒管制団第 19 警戒群に改編
2003 年 3 月	第 19 警戒隊に改編
2016 年 4 月	分屯基地創設 60 周年

出典：防衛省ウェブサイトをもとに筆者作成

<https://www.mod.go.jp/asdf/unishima/second/third/base.html>

3.分屯基地施設見学、体験喫食

当日の気温は約 9.2℃の曇天。鰐浦（わにうら）漁港から海栗島へ、備船による移動で約 10 分。甲板で冷たい風を受けながら、近づいてくるレーダー2 基を望む。

海栗島は対馬空港から陸路で約 1 時間半、さらにそこから船でしか移動できない「二重離島」である。勤務場所（分屯基地）と、官舎等の居住場所が別の島にあるため、他の分屯基地と同様の対処が出来ないことも多々あるとのこと。特に、輸送については備船に頼っているため、気象をよく確認し、欠航に備えた先行的な行動を取ることが不可欠との事である。

分屯基地に到着後、食堂にご案内頂き体験喫食。航空自衛隊名物の「空自空上げ（唐揚げ）」を美味しく戴いた。「空上げ」の味付けは、各基地でそれぞれに工夫が凝らされているとのこと。海栗島の空上げはピリ辛で、身体の中から温まるように工夫されていると感じた。



船の甲板から分屯基地を望む



ピリ辛で美味しい「空上げ」

4.ブリーフィング概要

ブリーフィングでは、坂井 貴 2 等空佐（第 19 警戒隊長兼ねて分屯基地司令）に分屯基地概況説明をして頂き、質疑応答には關 政景 1 等空佐（西部航空警戒管制団副司令）、中川 一 1 等空佐（西部航空方面隊司令部総務部長）からも補足説明をして頂いた。概況説明の要約は次の通り。

（地理・特性）

- ・海栗島分屯基地は、九州本土から北西約 150 km、朝鮮半島から約 50 kmの場所に位置する、我が国最北西端のレーダーサイトであり、周辺空域の警戒監視の要衝である。
- ・対馬は暖流に囲まれてはいるが、冬季は非常に寒冷で、最低気温は氷点下 7 度を記録している。
- ・地域特性として、朝鮮半島に最も近く、国境の要衝であるため、常に緊張感を持って任務にあたっている。

（基地周辺状況）

- ・対馬には陸上自衛隊の対馬警備隊、海上自衛隊の対馬防備隊があり、壱岐、上対馬、下対馬の 3 か所に警備所を有する。
- ・県の振興局や市役所等、主要機関の多くは島の南部に集中して配置されている。

（部隊編成等）

- ・自衛隊の航空総隊は、北・中・西・南西の 4 つの方面隊に区分されており、それぞれの方面隊は、戦闘機部隊と警戒管制部隊、地对空誘導弾部隊に分かれている。
- ・第 19 警戒隊は、航空総隊の西部航空方面隊、西部航空警戒管制団に属する。
- ・西部航空警戒管制団には 7 つのレーダーサイトがあり、そのうち長崎県内にあるのは、福江島と、当分屯基地のある海栗島。
- ・各自衛隊は、各種事態に迅速に対応するため、領海・領空とその周辺の海空域において、情報収集および警戒監視を行っている。

（訓練等）

- ・部隊では、基地警備、災害派遣等の訓練を実施している。敷地が限られているため、創意工夫をもって訓練している。
- ・自衛官に必須の体力錬成は、3 キロ走を計測可能な平地が分屯地内に無いため、庁舎前を 20 周回走って計測するなどしている。
- ・塩害を受けやすい環境のため、器材および施設の保守のためのきめ細やかな点検整備を実施し、装備品等の稼働状況を維持している。

(地域交流・災害派遣)

- ・地域行事に積極的に参加し、基地見学や体験搭乗なども行っている。(学校行事や職場体験の受入れ、マラソン大会の参加やボランティア、音楽隊による演奏協力等)
- ・近傍災害派遣の実績あり(川の氾濫による地区浸水に対して、道路設置や土砂の除去、住民の避難支援等)



ブリーフィングの様子



全員で集合写真

5. 質疑応答

Q) 当分屯地の主な監視対象は航空機か？船や潜水艦か？

A) ドーム型のレーダーは対空が主で、飛行機とミサイルを監視している。

また、基地の機能を守らなければいけないので、ゲリラやコマンドの侵入を防ぐための監視をしている。

Q) 北朝鮮からミサイルが発射された際に、国民は一般的に韓国国防省発表で情報を把握するが、日本の自衛隊も、実はいち早く詳しく把握しているのでは？

A) 詳しいことは申し上げられないが、ミサイルについてはレーダーサイト以外の部分でも様々な活動があり、総合的に情報を把握、処理しているという風にご理解いただきたい。

Q) 領空侵犯してくるのは北朝鮮機か？ロシア機か？

A) 領空に接近してくるのは、基本的にロシアの航空機が多い。我々は領空侵犯されないよう監視し、スクランブル発進で対応している。最近では中国機がロシア機とランデブーして日本海で共同訓練を行ったり、日本を一周するような監視偵察活動もしているため、この分屯基地のレーダーサイトは重要な役割を果たしている。

Q) 当レーダーサイトが発見した不明機に対するスクランブル発進は何処から？

A) 西部防空管制群にある防空指令所が総合的に情報を判断して、第8航空団や第5航空団へスクランブルを指示する。

6.所感ならびに謝辞

対馬は我が国の防衛上の重要拠点である。古代の防人や中世の武士及び近世の軍人が、島民と一体となって対馬を守ってきた歴史的背景もあり、自衛隊の活動に対する島民の理解は高く、また警察などの関係機関とも、日頃から地域の安全・安心にかかる情報を共有しており、島全体が「国境の防人」として機能しているといっても過言ではないという。

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、朝鮮半島の動きに対して一瞬たりとも気を抜けない中、海栗島分屯基地の皆様には業務ご多忙の中、たいへん貴重な視察の機会を戴いた。坂井分屯基地司令を筆頭に、隊員の皆様がこの国を守るため、厳しい自然環境の中で昼夜を問わず全力で任務遂行にあたっておられる事に、心からの感謝と敬意を表したい。

沖縄経済同友会では今、南西諸島周辺地域で有事が発生した場合における事業継続（BCP）や従業員避難に関するプロジェクトチームを発足させ研究を行っている。このたび、与那国島よりもさらに国境に近い対馬の現状と危機意識を学べたことで、当会の研究も更に深まったと思う。

最後に、視察を快く受け入れてくださった坂井貴分屯基地司令と分屯基地の隊員の皆様、視察に随行してくださった關政景西部航空警戒管制団副司令、中川一西部航空方面隊司令部総務部長に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

<参考文献>

- ・防衛省海栗島分屯基地ホームページ

<https://www.mod.go.jp/asdf/unishima/index.html>

- ・平成28年度版防衛白書

http://www.clearing.mod.go.jp/hakusho_data/2016/html/nc029000.html

- ・ウィキペディア

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%B7%E6%A0%97%E5%B3%B6>

以 上

V. 内外トランスライン社（内外銀山ロジスティクス株式会社）視察

～ 釜山新港における取組について ～

【報告者：内間 徹（㈱沖縄銀行 常務取締役）】

2024 年 2 月 2 日（金）、日本企業の現地法人である「内外銀山ロジスティクス株式会社」を訪問し、岩貞均代表取締役社長より、釜山新港における取組についてブリーフィングをいただき、意見交換を行った。

1. 会社概要

- ・「内外銀山ロジスティクス」は、2015 年に日本の「内外トランスライン株式会社」が 70%、韓国企業 30%の出資で設立した合弁現地法人。釜山で倉庫業を営んでいる。ほかに 100%子会社で海上・航空輸送の「NTL 内外トランスライン코리아株式会社」、100%子会社で倉庫業の「内外釜山物流センター株式会社」の 3 社を運営している。
- ・「内外トランスライン株式会社」は、海外輸送がメインで大きな港がある地域に事業所がある。

設立	1980 年
従業員数	686 名（連結）
資本金	243 百万円
上場市場	東京証券所プライム市場
国内事業所	大阪（本社）、神戸、東京、横浜、名古屋、福岡
海外現地法人	シンガポール、バンコク、レムチャバン、ヤンゴン、ジャカルタ、上海、天津、大連、青島、広州、深圳、香港、ソウル、釜山、ニューデリー、ムンバイ、チェンナイ、バンガロール、セーラム、ロサンゼルス



（内外銀山ロジスティクス社）

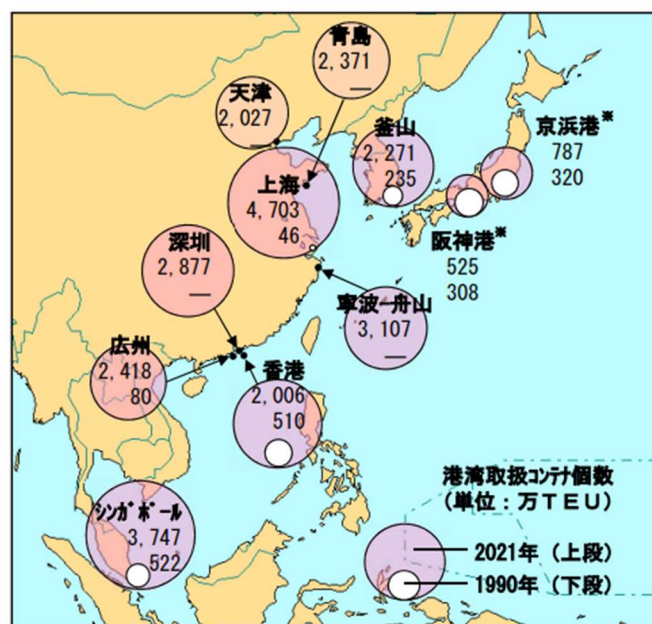
2. 釜山港について

- ・釜山は日本と中国の大きな 2 大経済圏の真ん中に位置している。
- ・自然災害が非常に少なく、台風もほとんど発生しない。また、基本的には地震がない。
- ・海外や日本の主要港をカバーしているというメリットがあり、ハブ港としての機能がある。
- ・釜山新港の南に車で 30 分ほどの加徳島というところに新空港を建設するという事になってお

り、これが完成すると海上・航空ともにハブとしての機能が期待される。

- ・釜山新港の倉庫自体が、保税地域（フリートレードゾーン）となっていて、輸入通関前の状態で保管することが可能となっている。日本から韓国に輸出する際、現地のお客様からオーダーをいただいてから物を送るのが一般的だが、事前に釜山の倉庫で保税のまま置いておけば、契約が確定すれば、すぐに輸入通関を通して配送することができる。
- ・「非居住者在庫」の特長として①釜山新港倉庫はフリートレードゾーン②非居住者が保税状態で貨物保管が可能③売買契約が成立していない貨物の保管が可能④売買契約が成立後に輸入通関・配送。これにより納期短縮が可能となる。
- ・日本と韓国は近いといっても、オーダーしてから届くまで1週間以上はかかるが、釜山の倉庫に置いていただくと、翌々日には到着可能。ビジネスチャンスの促進（機会損失回避）ができるため、日本のお客様にも非常に関心を持っていただいている。
- ・日本は自然災害が多く、それに比べると韓国は災害が非常に少ないため、釜山に在庫としておくことを検討しているお客様もいる。
- ・トラック運送の2024年問題への備えとして、これまで東京や神戸等まで国内輸送で持って行ってそこから輸出していたお客様が、地方港から釜山経由で輸出することを検討しているとも聞く。
- ・日本としては少し寂しい話でもあるが、日本はメイン港ですら地方港扱いになって縮小化していった、釜山港機能が更に大きくなっていくことが予想される。
- ・釜山新港の発展は一部の地方公共団体ではなく、韓国が国をあげて取り組んでいる。
- ・釜山新港ができた頃は橋もトンネルもなく、不便なところに倉庫が出来たと思ったが、現在、釜山新港であがったコンテナは釜山市内を通らずに、そのまま新港から橋を渡ってトンネル高速道路に繋がっている。
- ・日本から様々な視察の方が釜山新港の機能を目にしてすごい危機感を抱いて帰るが、それから何年経っても日本の港は全然発展していない。

【アジア主要港のコンテナ取扱個数】



※京浜港は東京港・横浜港・川崎港。
阪神港は大阪港・神戸港。

TEU (twenty-foot equivalent unit):
国際標準規格 (ISO規格) の20 フィート・コンテナを1とし、
40フィート・コンテナを2として計算する単位。

(出所：国土交通省港湾局「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会（令和5年2月）」)

3. 釜山港における倉庫業の運営

- ・釜山新港の港のところがターミナルになり、その後ろに釜山新港の物流センターがあり、弊社は今3つの倉庫を運営。
- ・「内外銀山ロジスティクス」(第1倉庫)は2016年11月から運営している倉庫。10,192坪の広さとなっている。釜山新港の倉庫は基本的なスペースとしては、大体1万坪の倉庫が平均の広さ。縦が130メートル、横が260メートルと広い大きな倉庫になっている。
- ・「内外釜山物流センター」(第2倉庫)は2019年4月より運営。坪数としては6,127坪と、第一倉庫よりは少し小さいが、2階建てなので、倉庫面積で見るとあまり変わらない。また、2021年8月より内外物流センターの中に冷蔵倉庫の運用を行っている。
- ・もうひとつは2023年6月に倉庫を買取り、「内外釜山物流センターウンドンセンター」(第3倉庫)として運営を開始している。総敷地面積17,226坪で、A棟とB棟とあり、倉庫面積だけで約8,500坪と、ヤード(作業場)が8,000坪となっている。
- ・現在、釜山新港で3倉庫を持っている会社というのは弊社ともう1社、2社だけとなっており、日系会社としては弊社だけが3つの倉庫を所有している。
- ・弊社に限らず、どの倉庫もリーチスタッカーというコンテナをそのまま掴んで移動することができる設備を有している。リーチスタッカーを使用することで、コンテナをそのまま移動することができ、自分たちが作業しやすい場所・タイミングで作業を行える。
- ・トラック会社も作業終了まで待機することがないので、非常に効率よく作業が出来る様になっている。
- ・ほかに、25トンフォークリフト、REFコンテナプラグを20基設置している。
- ・セキュリティ関係は非常に重要で、アメリカのセキュリティ会社ADTと契約している。CCTVとセキュリティ会社と警備員という3つの体制で万全を期している。
- ・釜山ではないが、ソウル近郊の仁川で「内外仁川物流センター」を運営。



(倉庫内の見学)



(リーチスタッカー)

4. 意見交換

- Q：日本では、いわゆるカーボンニュートラルポートといって港湾の脱炭素化を進めているが、釜山港としての脱炭素化に対する取組み、それと御社の脱炭素化の取組みというのをご教示いただきたい。
- A：基本的に釜山新港のトラックはディーゼル車が多いが、今後はEV化になると思う。基本的にガントリークレーン操作等はすべて遠隔でコンピュータを駆使してやっている。私共に対して脱炭素のことを求められるお客様も非常に多くなっている。

Q：この釜山新港の中で日系の企業はどのくらい進出されているのか。

A：釜山の会社にメインで運営してもらっている会社が多く、日系企業として運営しているのは3社。

Q：今、日本も倉庫の建築が増加している。今、一般の大きな倉庫というよりも、低温貯蔵できるような倉庫需要が非常に強まっていると感じているが、釜山新港ではどういった状況か。

A：釜山新港と北港の間にある甘川（カムチョン）という港に冷凍倉庫が集中しているが、非常に古くなっているので、釜山新港で冷凍冷蔵に取り組もうという倉庫さんが多くなっている。当社も第2倉庫の一部に冷蔵倉庫を作り、第3倉庫のほうでも冷凍倉庫を作ることになっている。

Q：釜山新港の倉庫ターミナルは港の管理組合などが所管しているのか。

A：釜山新港の土地の所有は国になり、使用者は土地を購入するわけではなく、土地の使用権を借りる形になる。賃貸期間が基本契約は30年、プラス20年の延長が可能である。50年後は現状復帰をして返すことになるだろう。

Q：経営的な観点で、荷物の預かり（保管）の方がいいのか、倉庫の回転を上げた方が収益的にいいのか。倉庫業はどのような経営が望ましいか伺いたい。

A：やはり倉庫は回転が大切で、保管だけでは動かない。一方で作業が煩雑なもの（商品）がたくさんあると、人数がそれなりに必要となる。また、釜山新港は公共交通機関が行き届いてないため人の採用が難しい部分もあるため、今後極力人を使わない経営が求められる。

Q：ハブ港といえば、世界中から大型の船が世界中から荷物を積んでやってきて、物を積み替えてまた持っていくというイメージだが、何を生み出す地域でもないのにハブ港になったきっかけを教えてください。

A：韓国自体が大きな国ではなく、日本の昔と同様、原材料を加工して売るのが一般的な形。国として貿易を発展させるために自分たちでやるのには限界があると感じて、ハブ構想を実現させたと聞いている。

⇒（回答を受けて質問者）地理的な場所、地震がないというのは大きな強みではないかと思う。

⇒（岩貞社長）あと、中国から安い原材料、日本から比較的高品質の原材料を買い入れて、上手く組み合わせて良い製品を安く販売することで韓国は発展した経緯がある。それが、ちょうど日本と中国の間に位置している釜山新港ができるきっかけになったのではないかと考えている。

Q：世界でハブ港として名前が出る「香港」は、世界金融センターが立地して貿易金融も発達しているが、その辺はどうか。

A：これははっきり分かれており、金融関連はソウルに集中している。

Q：日本と比べて規制・制度面が緩和されてることがハブ港として発展する要因だと思うが、例えば保税期間が長いとか、24時間稼働して良いとか、具体的な例があれば教えていただきたい。

A：24時間いつでもコンテナを運べる。日本の港は、基本的にはお昼休みの時間はクローズしていたり、夜はピックアップできなかったりと制限が非常に多いが、釜山新港についてはいつでもピックアップできる。



(意見交換会の模様)



(岩貞社長との記念撮影)

以 上

VI. 釜山港湾公社 広報館視察

【報告者：嘉味田朝紀（沖縄新エネ開発株式会社 代表取締役社長）】

釜山港は、貿易大国の日本、世界でも有数の輸出入大国の中国、香港、台湾などの貿易中継地点を有するなどの地理的条件を生かし、東アジアの国際物量の拠点、国際主要コンテナ航路上のハブ港となるよう開発が進められ、その機能を担うようになってきた。しかしながら、増大するコンテナ貨物に対応しきれない状態となってきたことから、1997 年、釜山広域市江西区から慶尚南道昌原市鎮海区に跨る港湾として釜山新港の開発、整備が進められた。現在の工事進捗率は全体の半分程度で、将来的には接岸施設である岸壁が 14.7 キロメートルに 45 隻の船が入る規模で開発が進められている。



※釜山新港広報館

さらにハブ港として利用促進するよう、国の政策により物流に関わる保管、分類、加工、組立、搬出入などについては関税を免除する自由貿易地域に指定されるとともに、当該地域で事業を行う企業に対しては法人税を減免するなど、海運業者や物流業者、輸出入業者にメリットを提供する取り組みを行なっている。加えて、膨大なコンテナを処理するために、大規模なコンテナターミナルを建設するための広大な地域の確保や、港湾の荷役作業（荷物の積み降ろし作業）を 24 時間可能にするなど利便性向上の取り組みも並行して進めている。また、将来的な処理能力向上と人手不足への対応等に荷役機械の遠隔操作化・自動化を 100%とするなどの取り組みも併せて行なっているとの説明があった。

そのような取り組みの結果、現在では年間の釜山港の貨物取扱量は 2021 年で 2,271 万 TEU（釜山新港 1,554 万 TEU、釜山北港 716 万 TEU）で世界第 7 位となっている。ちなみに世界 1 位は中国の上海で 4,700 万 TEU、日本の最上位の東京は 433 万 TEU で 46 位となっている。なお、TEU とは 20 フィートで換算したコンテナ個数を表す単位のこと。



※釜山新港全体図

当該港を利用する日本企業は、(1) 他国からの輸入資材を保管し、注文が入った時点で輸出する、(2) 輸出国の言語に合わせたラベルやパッケージに変えて再輸出する、(3) 関税自由地域内の施設で加工や組立てを行ない輸出する、という形で当該港を利用している。また、直近では、トラックドライバーの人手不足、長時間運転、荷待ち時間、荷役作業等を理由とする長時間労働の解消の

ため時間外労働の年 960 時間の上限規制が適用される、いわゆる 2024 年問題への対応として、東京、名古屋、大阪などの大きな港湾への集積ではなく、釜山新港から届け先の近くの港に当該港から直接海上輸送し、陸送を減らす方法を模索する日本企業も出てきているとのこと。

今回の釜山新港の視察から、沖縄がアジアにおけるハブ港を目指すためのインフラ整備、法整備等多くのヒントがあると感じられたことは、視察の大きな成果ではないかと感じた。ただ、カーボンニュートラルレポートへの取組みについては、当該港を利用する日本企業訪問の際の質問に対し、国の明確な目標等が定められていない状況もあり、あまり進んでいないとの回答だった。今後の進展に期待するとともに、再訪の必要性を感じた視察となった。



※ブリーフィングの様子

以 上

VII. 韓国国防研究院（K I D A）との意見交換

【報告者：出村 郁雄（那覇空港貨物ターミナル㈱ 代表取締役社長）】

1. 韓国国防研究院（K I D A）の概要ならびに参加者について

韓国の政府機関である韓国国防研究院（K I D A）を訪問し、安全保障に関する意見交換を行った。韓国国防研究院（K I D A）は韓国の国防政策に寄与するために1979年に設立され、1987年には韓国国防研究院法によって、独立した国防政策総合機関として国防政策、軍事戦略、軍事力建設、国防情報化政策等、防衛政策に関する調査研究を行っている。

今回の参加者とブリーフィング内容

	氏名および役職	内 容
①	ホリョン・リー (安全保障戦略センター所長 博士)	冒頭挨拶
②	ファサップ・フォン (上級研究員 日韓関係、日本研究 博士)	昨今の日韓関係
③	イ・ジャンウク (韓国国防政策局国防戦略課長)	韓国の国防政策
④	シン・スンギ (北朝鮮軍事部長)	北朝鮮情勢
⑤	チャン・ヘジン (日本研究准研究員)	安全保障面における日韓の協力について

2. 瀧辺代表より冒頭挨拶

今回の意見交換の機会を持てたこと、大変感謝申し上げたい。沖縄経済同友会には安全保障委員会があり、安全保障の研究を続けてきた。今期のテーマとして有事を想定した企業従業員の保護、及び企業の機能維持を中心とした調査・研究を進めており、政策提言としていく予定としている。各種報道等でも取り沙汰される台湾有事について韓国の国防当局がどのような考えをお持ちか、忌憚ない意見交換をお願いしたい。



瀧辺代表より冒頭挨拶

3. 韓国国防研究院参加者による、各パートにおける説明

- ① ホリョン・リー（安全保障戦略センター所長 博士）：歓迎の挨拶
- ② ファサップ・フォン（上級研究員 日韓関係、日本研究（博士）：韓国と米国の間には韓米同盟、日本と米国の間には日米同盟があり、お互いが軍事的に協力していく必要があるが、これまでは韓日の政治的な不和により、協力が進んでいなかったのが実態である。今後は米国を介するのみではなく、日韓が直接調整できる間柄になっていく必要があると考える。
- ③ イ・ジャンウク（韓国国防政策局国防戦略課長）：今年に入り、北朝鮮が軍事的な圧力を韓国に対して強めてきている。さらに核の脅威で韓国を脅かしている。われわれの軍事的脅威のプライオリティはまず北朝鮮である。
- ④ ⑤ の発言は割愛

■KIDA の目標

自由、平和、繁栄に導く精鋭先進強軍を築く。そのためには以下の3つが重要。

- 1) 先進国防力強化 — 安保（SECURITY）— 北朝鮮の核ミサイルへの対応能力を最優先に確保し、先端科学技術力と調和することで戦いに勝つ軍隊への根本的体質変革を図る。
- 2) グローバル安保ネットワーク構築 — 価値（VALUE）— 同盟、価値共有国とのグローバル安保連帯を強めて北朝鮮の核攻撃や各種脅威に圧倒的抑制力及び防衛力を具備する。
- 3) グローバル防衛力拡充 — 経済（ECONOMY）— 蓄積された先端技術を土台としてグローバル防衛産業輸出を拡大する。各国との協力を拡大して海外に向けて武器、弾薬を生産、貯蔵出来るようにする。海外戦略拠点構築（有事の際、活用）することで経済成長を牽引する。

■主なトピック

* 沖縄の地理的条件 — 兩岸関係（台湾と中国対立）、米中関係、今年の各国選挙結果次第では世界安保経済に大きな影響を及ぼすという部分で国際社会の関心が高まっている。

* 新冷戦時代 — 最近北韓（北朝鮮）の金正恩の過激発言がかなり多くなっている。2016年からの国際連合の制裁施行や、コロナ、食糧難等々が重なり、今後の成長戦略のため北朝鮮とロシアとの協力関係が一層強まっている。

* 日韓関係 — 約10年間、歴史認識の相違により安保国防の葛藤があった。12年ぶりに2023年日韓頂上会談が実現。その他、韓米日安保協力、韓米軍事同盟、日米軍事同盟、米中関係など。

* 中国は北韓（北朝鮮）を活用することも十分に考えている。



各パートにおける説明の様子

国防研究院の皆様からの説明の後には、意見交換を行うこともでき、大変有意義な機会となった。日本政府の台湾有事に対する取組みに比べ、韓国ではやはり従来通り北朝鮮への対応が最も重要であり、特に北朝鮮の最近の変化に対してはかなり警戒感があり、より一層緊張感を持って対峙しているということを強く感じた。台湾有事への韓国軍の関与に関しては、さほど熱意が感じられなかった、という印象であった。



韓国国防研究院の皆様との記念撮影

以 上

VIII. JETRO ソウル事務所との意見交換

【報告者：臼井 隆秀（インタラクティブ株式会社 代表取締役社長）】

韓国に関する最新経済動向等についてブリーフィングと意見交換を実施するため JETRO ソウル事務所を訪問した。JETRO ソウル事務所は、1967 年の設立以降、日韓経済交流を促進するため、韓国に進出している日系企業または韓国進出を検討している企業向けの支援や、韓国企業向けの日本進出支援などを行っている。



（ブリーフィングと意見交換の様子）



（JETRO ソウル事務所 葦澤副所長）

葦澤副所長から「韓国経済情報」と題してプレゼンテーションを頂き、その後意見交換を行った。丁寧な資料をまとめて頂いたのでスライドのいくつかを抜粋しながら、当日頂いたお話を紹介したい。

また30分程の限られた時間だったため要点のみご説明頂いたが、せっかくなので資料にあったスライドのタイトルを掲出させていただきたい。

事務局に資料は残っていると思うので、興味ある項目がある場合には是非問い合わせを頂ければ幸いである。

〔全スライドの項目〕

韓国の概要/マクロ経済の現状（支出項目別 GDP 成長率寄与度）/景気動向/消費者物価の動向/株価と為替の推移/雇用動向/韓国企業の賃金事情/韓国の輸出入の動向/最近の国別輸出入の現状/2022 年の品目別輸出入の現状/日韓貿易の現状/2021～2022 年対米貿易/2021～2022 年対中貿易/2021～2022 年対越貿易/日本の対韓直接投資/主要企業の動向（2023 年第 3 四半期）①/主要企業の動向（2023 年第 3 四半期）②/第 3 国でのビジネスにおける日韓連携の具体例①/第 3 国でのビジネスにおける日韓連携の具体例②/韓国の FTA 進捗状況/今後の景気の行方/

図 韓国略図



1. 面積: 10.04万km² (22年、日本の約1/4)
2. 人口: 5,135万人 (23年12月)
 - 特別市: ソウル (939万)
 - 広域市: 釜山 (329万)、大邱 (237万)、仁川 (300万)、光州 (142万)、大田 (144万)、蔚山 (110万)
 - 特別自治市: 世宗 (39万)
 - 道: 京畿道 (1,363万)、江原道 (153万)、忠清北道 (159万)、忠清南道 (213万)、全羅北道 (175万)、全羅南道 (180万)、慶尚北道 (255万)、慶尚南道 (325万)
 - 特別自治道: 済州 (68万)
3. 1人当たり国民総所得 (名目): 32,038ドル (20年) → 35,373 (21年) → 32,661 (22年)
4. 合計特殊出生率: 0.92 (19年) → 0.84 (20年) → 0.81 (21年) → 0.78 (22年)
5. 日本との人的交流
 - 日本→韓国: 294万人 (18年) → 327万人 (19年) → 43万人 (20年) → 30万人 (22年)
 - 韓国→日本: 753万人 (18年) → 558万人 (19年) → 48万人 (20年) → 101万人 (22年)
 - 在留邦人数: 2万5,123人 (20年12月) → 2万5,139人 (21年12月) → 2万8,443人 (23年11月)
6. 韓国進出日系企業
 - SJC (Seoul Japan Club) 法人会員企業数: 372社 (20年末) → 350社 (21年末) → 346社 (22年末) → 338社 (23年12月)
 - 産業通商資源部「外国人投資企業情報 (日本)」: 2,779社 (20年末) → 2,752社 (21年末) → 2,752社 (22年末) → 2,727社 (23年末)
 - 東洋経済新報社「海外進出企業総覧」: 760社 (20年7月) → 771社 (21年7月) → 780社 (22年8月) → 780社 (23年8月)

出所: 1,3,4は統計庁、2は行政安全部、5は法務部、JNTO、外務省、6はSJC、産業通商資源部、東洋経済
注: 6の産業通商資源部のデータには撤退した企業も一部含まれている。

Copyright © 2023 JETRO. All rights reserved.

1

韓国の概要について

まず韓国の概要についてであるが、日本の 1/4 程の面積のところに日本の半分弱の人口が住んでいる。さらに国民の 1/4 の人口がソウル近郊に住んでおり大都市一極集中が日本以上に進んでいる。一方で南部の釜山広域市にも 329 万人の人口がおり、直線距離で 220km ほどの距離にある福岡市 (人口 164 万人)、北九州市 (91 万人) に比べても人口が多い。観光や経済交流等でも九州北部と釜山市は重要な関係といえる。

一人当たり国民総所得 (名目) は徐々に上がっており 2022 年で 32,661 ドルになった。日本の一人当たり国民総所得 (名目) は 33,854 ドルのため、ほぼ変わらない水準になっている。

特殊出生率は直近では 0.7% となっていて韓国では深刻な問題になっている (日本は 1.3%、東京で 1.0% 程度)。現地の新聞によると 50 年後には韓国の総人口が 3600 万人程度に減り、その内半分は 65 歳以上の高齢者になる見込みである。

日本との人的交流は活発で、韓国から日本への渡航者は 2023 年 12 月の 1 ヶ月で 70 万人を超えており、年に換算するとコロナ前の水準に戻っている。若者中心に日本から韓国に旅行する人が多いように感じるが、実際は日本から韓国に行く観光客数に比べて、倍近くの韓国の方が日本を訪れている。人口比で考えると日本から韓国に行く比率より、韓国から日本に来る比率が 4 倍程度高いことになる。それだけ韓国人は日本に対して興味を持っているということを示しているとのことだった。

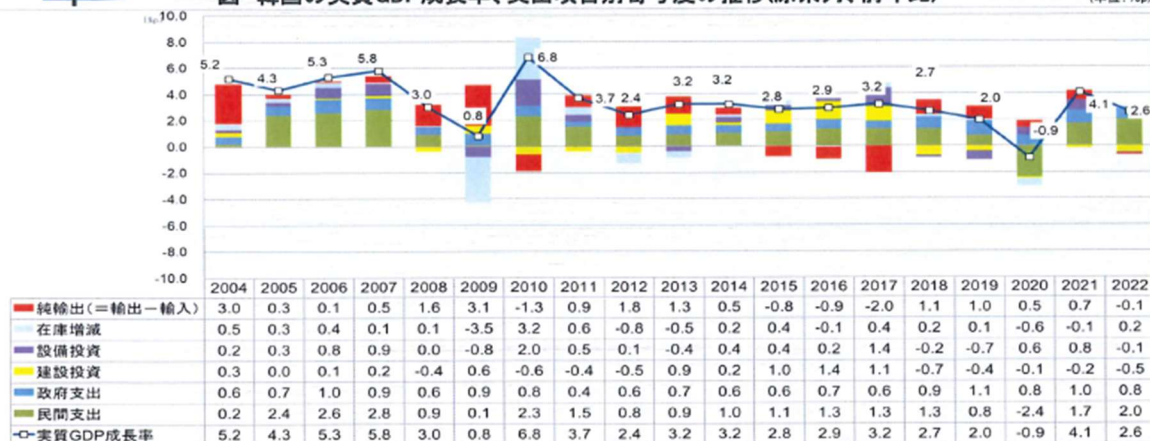


マクロ経済の現状 支出項目別GDP成長率寄与度

JETRO

図 韓国の実質GDP成長率、支出項目別寄与度の推移(原系列、前年比)

(単位: %p)



出所: 韓国銀行(2015年度連鎖価格基準、2023年1月26日)

表 韓国の支出項目別実質GDP成長率寄与度の推移(季節調整、前期比)

(単位: %p)

	民間最終消費支出	政府支出	建設投資	設備投資	在庫増減	純輸出	実質GDP成長率	
							輸出	輸入
2022 II	1.3	0.1	0.0	0.0	0.2	-1.0	-1.4	-0.4
2022 III	0.8	0.0	0.0	0.7	0.3	-1.8	0.5	2.2
2022 IV	-0.2	-0.6	0.1	0.2	-0.2	-0.6	-2.5	-1.8
2023 I	0.3	0.0	0.0	-0.4	0.2	-0.1	1.5	1.7
2023 II	-0.1	-0.4	-0.1	0.0	-0.2	1.3	-0.9	-2.1
2023 III	0.2	0.0	0.3	-0.2	0.0	0.4	-0.9	1.7

第3四半期
支出項目別の成長率について、民間消費(0.3%増)、政府消費(0.1%増)、建設投資(2.2%増)、輸出(3.5%増)が全体を押し上げ、GDPは前期比0.6%増加。しかし、設備投資(2.7%)は大幅減となり先行き不透明な状況

注: 上記枠内の数値は項目別の成長率であって、左表内の数値とは一致しない。

Copyright © 2023 JETRO. All rights reserved.

出所: 韓国銀行(2015年度連鎖価格基準、2023年10月25日)

2

韓国経済について

韓国経済は 20 年安定して経済成長を続けてきているとの説明が葦澤副所長からあった。さらに統計データを調べると 1997 年のアジア通貨危機、2008 年のリーマンショックで一時的な落ち込みがあったものの 1987 年頃から急激な経済成長を続けている。日本の失われた 30 年の裏側でエレクトロニクス産業、自動車産業というまさに日本のお家芸であった産業を中心に目覚ましい発展を遂げている。

韓国経済の特徴は①財閥企業の占有率が高いことと②輸出依存度が高いことが挙げられる。エレクトロニクス産業ではサムスングループ、LG グループが、自動車産業では現代グループが代表格である。このような特徴から、直近では中国経済の冷え込みにより韓国経済も打撃を受けている。現代自動車は中国経済の影響が少ないため業績は好調だが、韓国最大の企業であるサムスングループの 2023 年第三四半期の決算は営業利益が 77.6%減になる見込みとのことだった。

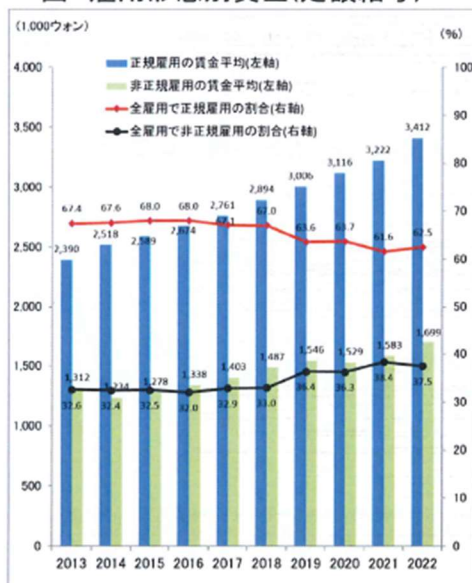
また国際的な物価上昇に伴い物価上昇率は 2022 年に 5%を超えており、日本に比べても上昇率が高い。一方で為替は米国の金利上昇に合わせて、政策金利を 3.5%に引き上げたことで日本のような大幅な通貨安という状況にはなっていない。アジア通貨危機でショックを受けた経験が活かっているのではないかと葦澤副所長からは見解が示された。

□ 雇用者の37.5%が非正規雇用者。非正規雇用者の賃金は正規雇用者のおよそ半分程度。

□ 2024年の最低賃金は前年比2.5%増の9,860ウォン(2024年1月1日以降に適用)。

※2021年 8,720ウォン(前年比1.5%増) → 2022年 9,160ウォン(前年比5.1%増) → 2023年 9,620ウォン(前年比5.0%増)

図 雇用形態別賃金(定額給与)



出所：雇用労働統計(<http://laborstat.moel.go.kr/>)
Copyright © 2023 JETRO. All rights reserved.

表 従業員の規模別・産業別賃金(定額給与)

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
従業員の規模別	5人未満	1,609	1,672	1,772	1,860	1,918	1,994
	5～29人	2,258	2,360	2,499	2,603	2,702	2,784
	30～299人	2,539	2,625	2,793	2,890	2,924	3,043
	300人未満	2,175	2,243	2,375	2,473	2,538	2,628
	300人以上	3,469	3,527	3,541	3,769	3,916	4,025
	全産業	2,347	2,419	2,542	2,654	2,723	2,816
産業別	農業、林業、および漁業	2,314	2,255	2,455	2,511	2,561	2,673
	鉱業	2,996	3,007	3,206	3,270	3,227	3,302
	製造業	2,507	2,538	2,682	2,819	2,875	2,998
	電気、ガス、熱気、および水道事業	4,059	4,013	4,218	4,316	4,454	4,457
	下水・廃棄物処理、原料再生、および環境復元業	2,468	2,618	2,833	2,982	3,032	3,176
	建設業	2,315	2,407	2,528	2,568	2,582	2,708
	卸・小売業	2,232	2,318	2,459	2,588	2,718	2,806
	運輸業	2,320	2,445	2,476	2,589	2,618	2,780
	宿泊、および飲食店業	1,271	1,279	1,395	1,490	1,516	1,528
	出版、映像、放送通信、および情報サービス業	3,184	3,282	3,479	3,657	3,810	3,862
	金融、および保険業	3,816	3,832	3,956	4,114	4,369	4,460
	不動産業、および賃貸業	1,976	2,131	2,255	2,300	2,408	2,409
	専門、科学、および技術サービス業	3,316	3,452	3,559	3,714	3,813	3,875
	事業施設管理、および事業支援サービス業	2,111	2,211	2,368	2,484	2,536	2,610
	教育サービス業	2,513	2,734	2,749	2,852	2,813	2,820
	保険業、および社会福祉サービス業	1,997	2,147	2,254	2,358	2,357	2,406
	芸術、スポーツ、および余暇関連サービス業	1,686	1,722	1,836	1,939	2,017	2,115
	協会および団体、修理およびその他の個人サービス業	1,723	1,813	1,927	2,051	2,212	2,295

出所：雇用労働統計(<http://laborstat.moel.go.kr/>)

韓国の賃金事情について

韓国の賃金は年々上昇をしている。正規雇用者の賃金平均をみると、2013年 2,390 千ウォンから、2022年 3,412 千ウォンと 10 年で 1.43 倍に増えている。日本政府も経済同友会も「賃上げ」が大きなテーマになっているが、韓国では日本が思い描くような「賃上げ」ができていないことになる。この理由を伺うと、もちろん経済成長していることもあるが、それに加えて「韓国では賃上げをしないとストライキが起る風習があるので上げざるを得ない」との回答が参考になった。

また財閥企業と中小企業の賃金格差が大きい。2021 年で 300 人以上の企業は 4,025 千ウォンに対し、5 人未満企業では 1,994 千ウォンと半分以下になっている。このような事情もあり韓国では財閥企業に入ることが大きなステイタスになっており、子供の頃は受験、青年になると就職をテーマに厳しい競争社会となっている。このような環境からか、韓国では貧富の格差や、世界一の自殺率が大きな社会問題になっている。

財閥を中心とした経済成長を継続しつつ、これらの社会問題をどのように解決していくか今後の動向も注視していきたい。

参考：韓国の政治体制



○ 歴代大統領



Copyright © 2023 JETRO. All rights reserved.

28

日韓関係の今後について

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は2022年5月に韓国の第20代大統領に就任した。韓国では大統領の任期が5年で再選がないため、残りの任期は3年強となる。尹錫悦大統領になってから日韓関係はとて良好な形に進んでいる。日本からも進出企業が増えており、2023年にはニトリホールディングス、ワタミなどが進出をしている。

ただ、現在の大統領は特別だという考え方をしておくべきで、政権が変わればまた日韓関係が冷え込む可能性があるし、また政権交代したからといっても以前のような反日不買運動までの状況が起きるかといえば分からないと葦澤副所長からコメントがあった。

感想

日本の失われた30年の裏側で目覚ましい発展を遂げた韓国から学ぶことはとても大きいと感じた。特に官民が一体となって国を発展させていく仕組みや、世界に輸出できる商品力、自国民が自国ブランドを沢山購入している点（街を見ると韓国製品を利用する韓国人に溢れていた）、が印象的であった。また隣国が世界10位の経済大国まで成長したことは日本経済にとってメリットが大きいはずなので、日韓関係が良好なうちに観光や経済面で連携を強められると良いと感じた。

以上

IX. DMZ 非武装地帯（自由の橋、第3トンネル、都羅展望台）視察

【報告者：平良 健（沖縄ツーリスト株式会社 取締役社長）】

●DMZ（Demilitarized Zone）

DMZ は 1953 年の朝鮮戦争の休戦協定に基づいて設定された、北緯 38 度付近の南北軍事分界線から韓国と北朝鮮の南北 2 キロメートルずつの地域のことである。

非武装地帯ということで軍事施設や武器の配置ができない地域、また軍事活動が許されない地域のことだ。

DMZ は南北の緊張関係を象徴し、対話の窓口としての役割も果たしてきた。南北双方が共同で管理する「板門店（パンムンジョム）」は DMZ 内にある。

※2024 年 2 月現在、「板門店」の視察ツアーは中断していたため、今回は非武装地帯の中にある「自由の橋」「第3トンネル」「都羅展望台」などの視察を実施した。

●自由の橋

自由の橋（じゅうのはし）は、大韓民国京畿道坡州市にある臨津江（イムジンガン）に架かる鉄橋。臨津閣（イムジンガク）の近くにあり、臨津江に架かる橋のうち最も下流にある橋である。本来の名称は臨津江鉄橋。もともとは京義線の鉄道橋として建設されたもので、道路橋に転用されたのち、現在は再び鉄道橋として機能している。

かつてこの地点には京義線の上下線に対応した 2 本の橋が架けられていたが、朝鮮戦争時に爆撃を受けて破壊された。後に復旧され現在使われている橋は、かつての下り線の橋であり、上流側に上り線の橋の橋桁が残っている。1953 年、朝鮮戦争の休戦協定が結ばれた後、捕虜 1 万 3000 人余りが橋を渡って南に帰還する際、「自由万歳」と叫んだことから、「自由の橋」の名で呼ばれるようになった。



（自由の橋周辺での写真）

●南侵トンネル(4つのトンネル)

北朝鮮が軍事境界線を越えて掘ったとされるトンネル。

【第1トンネル】

1974年11月15日 陸軍捜索隊によって高浪浦の東北方面8Kmの地点から発見された。第1トンネルは地下25～45mの深さにあり幅90cm、高さ1.2mの規模である。コンクリートを組み立てた構造で3.5Km レールと軌道車が設置されている。

北朝鮮は韓国が掘削したトンネルであると主張したが 多量の北朝鮮製の鹵獲品と北から南へと掘られた掘削方向、作業の進展状況を記録した痕跡から北朝鮮が掘削したものであることが明らかになった。

【第2トンネル】

1975年3月19日 鐵原地方13Kmの地点から発見された。地下から聞こえた小さな爆発音を根拠に地下水開発用の試錐装備を使用し捜索した。

総45個の試錐孔を開け その中7個が正確にトンネルを貫通した。深さは地下平均50mの地点にあり 幅2.2m、高さ2m、長さ3.5Kmに至る。多くの兵力を集結させることができる広場があり、出口は三つの方向に分かれている。第1トンネルの5倍に至る大きさで1時間当たり約3万人の武装兵が移動でき野砲を始め車両まで出入りできる大型トンネルである。

【第3トンネル】

1978年10月17日 に発見された。探査を実施していた途中 地下水が空中に吹き上がり発見されることになった。発見された場所は板門店の南方4Kmの地点であり ソウルからはわずか52Kmしか離れていない距離であるため、第1・2トンネルよりもずっと脅威的なものと評価された。規模は幅2m、高さ2m、平均的に地下73mの地点を1,635mほど掘削した。南側には3つの方向に分けられた出口を設けており 戦闘能力としては1時間当たりに武装兵3万人が移動できる。

【第4トンネル】

1990年3月3日 に楊口の東北側26Km 地点の非武装地帯の内部から発見された。発見された地点は軍事分界線から1.2Km離れた場所であり 高さと幅が1.7m、深さは地下145m、総長2,052mに至る。

このトンネルを発見することによって前線全域にわたって南侵略用のトンネルを掘削していたことが立証された。北朝鮮は韓国で掘った北侵略用のトンネルであると宣伝したが爆薬装置の方向が北から南に向いており 排水路の傾斜も南から北へと低くなっているため北朝鮮が掘削したものであることが容易に分かる。

※各トンネルは観光客向けに公開されており 内部を観覧できるようになっている。いずれも軍事境界線近くであり、民間人出入統制区域内にあるため 入域手続きが必要である。

今回、我々は第3トンネルの視察を行った。初めに、第3トンネルに関する資料館で映像を視聴し、その後資料館の中を見学。資料館には「板門店」の模型などもあり、非武装地帯に関する歴史などについても考察を深めることが出来た。

その後、実際に第3トンネルの見学へ。あいにくトンネルのある地下まで下りるためのモノレール（トロック）が整備点検で運休しており、350メートルもある地下へのトンネルを徒歩で降りて

いくことに。ただ、徒歩で降りることによっていかに地下深くにトンネルを掘削していたか身をもって体感することができた。



(資料館内の様子)



(第3トンネル入り口付近での集合写真)

●都羅展望台

都羅展望台(トラチョンマンド)は、DMZ の韓国側の境界線である南方限界線上に立てられた展望台。迷彩模様が施された建物に大きく掲げられた「分断の終わり、統一の始まり」の文字には、南北統一への願いが込められています。展望台からは肉眼で軍事境界線に張られた有刺鉄線が確認できるほか、天気の良い日には望遠鏡(有料)を通して、板門店や北朝鮮の開城(ケソン)の街並み、畑を耕す農夫の姿などを見ることができる。



都羅展望台での様子



現在の都羅展望台と旧都羅展望台の前での集合写真

※ 我々が訪れた日はあいにくの曇り空であったが、展望台からは双眼鏡で北朝鮮が眺望でき、少し霞んではいたものの、山々や畑、建物、北朝鮮の国旗も見ることができた。また、ソウル市内に比べても気温もグッと冷え込んでおり、非武装地帯周辺の厳しい環境も相まって、未だ予断を許さない北と南の緊張関係を肌で感じる視察であった。

以 上

X. 韓国貿易協会（KITA）との意見交換

【報告者：知花 健二（㈱琉球銀行 常務取締役）】

韓国貿易協会（KITA）は、韓国政府樹立（1948 年）より 2 年早い 1946 年に設立された民間経済団体である。貿易を通じた経済発展を目的に、7 万社以上の会員を抱える韓国最大規模の貿易機関で、韓国国内では、全 13 の拠点で貿易商の輸出入業務、海外では日本を含む 10 の支部で国内企業の海外進出と輸出入の活性化を支援している。

1972 年に世界貿易センター協会（WTCA）に加盟。1979 年に COEX 展示場、さらに 1988 年に大規模なビジネスタウンとして貿易センターを開業。COEX 一帯は、2010 年の G20 ソウルサミットの会場として使用された。

2023 年 8 月、関西経済同友会（日本）と『友好協力関係構築に関する覚書（MOU）』を締結。同年 12 月、東京の経済同友会と協賛でスタートアップビジネスサミットを開催している。

韓国貿易協会の最大の特徴は、多くの不動産を所有し、その不動産から得た利益により活動していることである。その為、会員企業から会費を徴収せず、また政府の干渉を受けずに、自らの活動方針に従って迅速に組織運営がされており、この独立性の高さが、同協会の大きな強みになっているのではないだろうか。

我々が訪問させていただいた、ソウル中心地のソウル貿易センター一帯には、同協会所有のコンベンション施設、地下モール、カジノ、高層ビル 9 棟が立ち並んでおり、その不動産収入・価値は相当な規模であることが推測される。韓国では首都圏に人口の半数が集中しており、特にソウル一極集中化が顕著である。そのソウルの中心地に、民間の経済団体が、どのようにしてこれだけの不動産開発が可能になったのか興味深いところだが、経緯については確認できなかった。



日程の都合上、面談時間は 30 分程度。韓国最大規模の民間経済団体としての誇りと、日本企業との経済協力関係を更に強化したいとの思いが感じられた面談であった。キム本部長の、『両国の間には、政治上のさまざまな懸案事項があるが、未来志向によりお互いの発展に繋げていきましょう』という言葉が印象的だった。

【韓国貿易協会の参加者】

- | | |
|------------|------------|
| ○キム・ギヒョン氏 | グローバル協力本部長 |
| ○ハン・スングォン氏 | 地域協力室長 |
| ○RJ・キム氏 | 地域協力室次長 |
| ○キム・チェフ氏 | 地域協力次長 |

面談場所：貿易センタービル 51 階



【参考】

韓国貿易協会の役割は以下の5点（視察時の同協会説明資料より抜粋）

1. 世界経済協力

（1）貿易外交と経済協力

貿易代表団を世界中に派遣。アメリカ・中国・日本・ヨーロッパ・中東などと経済協議会を運営

（2）政府間コミュニケーションチャネル

貿易外交を通じて政府間の協力を促進する為の仕組みを構築

（3）KITA グローバル・パートナーズ・クラブ

世界中の民間団体とのネットワークを通じ、韓国企業の海外市場への進出を支援

2. 韓国の貿易戦略及び政策に特化したシンクタンク

（1）国際貿易通商研究院（IIT）

貿易環境における地域、業界のリスクと機会に関する詳細なリサーチ

（2）素材部品装備産業サプライチェーンセンター

サプライチェーン情報収集、分析、伝播、情報システム構築及び運用を通じてグローバルサプライチェーンで発生するリスクに対応

3. 教育・貿易人材の養成：韓国貿易アカデミー

（1）未来の貿易専門家を育てる教育プログラム

（2）グローバルトレーニングプログラム

海外の政府関係者を招聘し、韓国の貿易による経済成長過程で得たノウハウと経験を共有

（3）求職者への支援

就職支援センターにおいて、求職者と企業をマッチング

4. バイヤーとセラーのビジネスマッチング

（1）tradeKorea(BtoB プラットホーム)

tradeKorea.com を通じて、年間1万3千件のビジネスマッチングと5000万米ドル規模の契約を実現

（2）展示会とビジネスミーティング

国際見本市に参加し、国際展示パビリオンの企画に関与。またスポーツ産業展示会『SPOEX』や『World IT Show』など複数の国際イベントを COEX で開催し、世界中のバイヤーを招待

5. スタートアップ企業の加速&オープンイノベーション

（1）Innobranch.com（オンライン） とスタートアップブランチ（オフライン）を通じてスタートアップ企業の海外進出を支援

（2）世界中のイノベーター、クリエイター、スタートアップアクセラレータが集まる

『NextRise』を主催

（3）世界中のステークホルダーをつなぐ『フォーチュン500コネクトプログラム』により多国籍企業や中堅企業のニーズにあった、スタートアップ企業の育成、発掘

（4）海外経済団体協賛によるスタートアップサミット

以 上

XI. ノンバーバル・パフォーマンス「NANTA」視察

【報告者：上運天 清（㈱りゅうせきフロントライン 代表取締役社長）】

視察3日目、ソウルにある韓国初のノンバーバル（非言語）・パフォーマンス「NANTA」（ナンタ）を視察しました。NANTAは、1997年から公演がスタートし、国内外合わせて250ヶ国、25年以上ものロングラン公演を記録しています。作品は俳優、舞台演出家の「ソン・スンファン」が「ヨーロッパに物を打ち鳴らすだけの演劇がある」という話を聞き、打楽器のみで演奏されるサムルノリ（韓国の伝統的な太鼓演奏音楽のリズム）と、父親が酒に酔って箸でテーブルを叩く様子や母親がナイフでまな板を叩く様子が頭に浮かび、これを作品化しようと思い立ったという事です。最初の題名は「イン・ザ・キッチン」だったようですが、包丁で野菜を刻む練習を見たスタッフのひとりが「ナンタ（乱打）だね」と言ったことから現在のタイトル「NANTA」に改名されました。公演開始後も専門家のアドバイスを受け、他国での公演にも耐えられるように普遍性を盛り込んでいく事で作品内容は改善されていきました。（Wikipediaより抜粋）

明洞劇場に入るとロビーがあり、一角には演技で使用するであろう厨房機器が展示され、これから始まる公演がどう展開されるのかを考えるとワクワク感があった。

公演は、とあるレストランの厨房を舞台に、急ぎ準備をしなければいけない披露宴のための料理を作らなければならない3人のシェフとレストランの支配人、そして助っ人としてやってきた支配人の知人シェフからなる総勢5人で、知人シェフが繰り出す混乱ぶりをコミカルに表現する内容。舞台となっているレストランの厨房内にある食器・包丁・まな板・鍋・ボウル・ゴミ箱等が楽器として用い、演者たちはこれらを使ってリズムを刻み、体現したり踊ったりしていた。また、独特の「サムルノリ」のビートに乗りながらリズムカルな音楽とアクロバティックなパフォーマンスで、さらには観客も巻き込んで繰り広げられるショーアップは会場を大いに沸かせていた。ショーの終盤、ウイスキー樽のようなものを打楽器にして演者5人で演奏するシーンは、迫力と独特のリズム感がありとても印象的であった。公演後には入口のロビーで、演奏に使用した楽器と同じ厨房機器があるブースで俳優の方々が出てきて観光客やファンの方々と触れ合いながら写真撮影をしており、最後までファンサービス欠かさない姿勢も見ることが出来た。



ノンバーバル・パフォーマンスという事で、体と音で表現をし、言葉を発さずとも観客を魅了するショーは日本ではあまり見かける事がなく、とても良かった。体を張ったオーバー気味な演技とお笑いは、「ドリフターズ」を思い出させる内容でもあり、懐かしさと新鮮さが入り混じったショーであった。

最後に、ナイトタイムエコノミー推進には、このような老若男女が楽しめるエンターテインメントが非常に重要である。沖縄にも様々な伝統芸能があり、それらを上手く活用すれば、「NANTA」のような素晴らしいナイトコンテンツを生み出せるのではないかと気付かされる大変良い機会になった。

以 上